



古民家主屋のかやぶき屋根、2度目の大改修

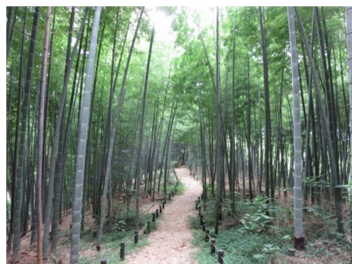
開園15年を過ぎ、傷みが出始めた茅葺き屋根を改修するため、9月1日(土)から12月28日(金)までの期間は、主屋の見学はできなくなります。屋根の全面葺き替えではありませんが苔が目立ったり、カラスが巣作りに抜き取ったりしているところがあるため、部分改修を行います。屋根の改修を行うのは前回の2010年以来8年ぶり2度目のことです。前回同様主屋の周囲に足場を組み、資材置き場や搬入通路を作るために前庭の半分くらいから立ち入り禁止となります。



主屋で開催していた初心者茶道体験教室、いろり端むかし話の会は期間中取りやめになりますが、工作棟での体験教室や長屋門の見学などはOKです。また農園の畑周辺で行う収穫祭、ポイントラリー、年末餅つき会などは開催する予定です。団体見学や課外授業などはお問い合わせください。

茅葺き屋根の改修はなかなか見られないので、期間中見学会を開催する予定です。日程は未定ですが、決まり次第、ふじやまだより、公園のホームページ、掲示板などでお知らせします。

(写真は前回の改修のときのものです)



あっという間に赤とんぼの季節になってしまった。暑い暑いで過ごしているうちに、古民家の周辺も少しずつ変わっているのだ。赤とんぼが竹トンボと競うようにすーいすーと飛んでいる。古く奈良時代からあるおもちゃだそうだが、形がトンボと似ているだけで、飛び方は全く違い、むしろ竹ヘリコプターだ。それはともかく、ふじやま公園には竹林があるおかげで、竹製の遊具、おもちゃが多くある。竹馬、竹ぼっくり、竹の打楽器…。まったく用途は違うが、竹炭も。他に竹を使って何かできないかなと、過密気味になってきた竹林で考えた。

大にぎわいの「にぎわい座出前寄席」と「里山そば」を堪能

猛暑のさなかの7月15日、80名ほどの寄席ファンで賑わった「にぎわい座出前寄席」。野毛の横浜にぎわい座のアウトリーチ事業と古民家とのコラボ事業。その話術に笑い爆発、神楽曲芸では息をのむシーンも。冷房のない会場は初めてという芸人たちも、古民家を吹き抜ける風に心地よさを感じていたようでした。にぎわい座に興味のある人は、にぎわい会員に登録すると、公演やチケット販売情報をメールでお知らせし先行予約ができます。



★ ふじやま公園の梅干しがたくさんできます！

猛暑続きの7月中旬、いつもの年ですとまだ梅雨の真ただ中ですが、今年は早々に梅雨明けで雨の心配もせずに梅の土用干しが行われました。収穫の時から出来のいい粒がそろっていたし、数も多かったので、干したり、ひっくり返したりが大変な3日間でした。猛暑の日光をたくさん吸収して、今度は瓶に詰められ美味しくなるように発酵させています。

古民家 Q&A 畳の縁

Q：畳の縁を付ける理由は？

A： 畳の縁は畳表を畳床につけるときの長手方向の縁を、イグサと直交して縁どる布のことで、畳の縁は畳の角の磨耗を防ぎ、和室の雰囲気を引き立て、上品さ・高級感を演出します。畳は天然産物であるわらとイグサを主な材料として作られる日本伝統の建材(床構成材料)です。畳はたたむこと、重ねることであり、かつては座具、寝具として用いられていましたが現在は主に座敷の床材です。

畳の製造法はよく乾燥した稲わらを厚さ約5センチに麻糸で縫い固め(畳床)、その表面はイグサを木綿糸で編んだ畳表で覆い、四辺の端を麻糸で縫い固め、布製の縁を付けます。材料は絹、麻、木綿、などが用いられ、色は黒、紺、柿のほか、色々な模様のあるものもあります。色・模様により松江田縁や高麗縁などの名称があります。

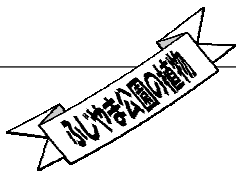


古民家では今年春に畳表替えを行いました。上座敷などの客間の畳には木綿製の黒色の縁が付いています。畳表は熊本産が使われています。中之間などの居住部屋の畳には縁が付かず、琉球表が使用されています。イグサの香りとともに畳

縁の有無や畳表の違いを観察して下さい。

《 今年もスズムシをさしあげます 》

ふじやま公園では、今年もすでに鳴き始めたスズムシを差し上げます。出来れば容器(虫かご＝砂を敷いたもの)を持参して公園事務所にお越しください。紙コップの簡易容器でお持ち帰りもできます。秋の夜長をいい音色でお楽しみください。



ホオズキ (鬼灯)

ナス科の宿根草で、根を四方八方に延ばし繁殖する。6～7月ころに白い花を咲かせる。お盆には、赤く色づいた実を、死者の霊を導く提灯に見立てて飾る家庭が多い。因みに、英語でもチャイニーズランタンという。

最近目にすることは少なくなったが、赤く熟したホオズキの実をクチュクチュと揉んで種を出し、口に含んでギュッギュッと音を出して遊んだことを懐かしく思い出す人も多いかもしれない。長屋門に入って右側の花壇に植えられている。



《 本郷小で出前工作教室を開催しました 》

ふじやま公園にほど近い本郷小で、7月23日(月)と26日(木)の2日間、サマースクールが開かれ、公園ボランティアが出張して工作を指導しました。2日間で50人近い児童が参加して、汗びっしょりになりながらウグイス笛、スカイシャトルなどを作り、校庭で成果を試しました。



『いろり辺雑記』 から (原文のまま)

時々 心を落ちつかせるため ここを訪れます
風が心地よく 至福の時間を過ごせます

(市内 40代 ひとりで)



平成30年9月ボランティア活動予定

部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	1日(土)	古民家歴史部会 部会	9日(日)
農芸部会 部会	17日(月)	古文書解説勉強会	2日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	5日(水)
里山部会 作業	8日(土) 15日(土)	クリーンアップ	4日(火) 18日(火)
	23日(日)	広報部会	
工作棟部会 部会	26日(水)	ふじやまだより編集会議	8日(土)
子ども工作準備	適時	印刷	13日(木)
囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます	ホームページ制作打合せ	29日(土)

公園ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡ください。

体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限 定員
簡単デコパージュ ～メガネケースデコ～	10月15日(月) 13時～15時00分	ペーパーナプキンの絵柄を 切って貼るペーパーデコパ ージュ	600円	10月5日(金) 6名
フラワー アレンジメント	10月23日(火) 13時30分～15時30分	秋色アレンジ	2,000円	10月9日(火) 8名

(1)応募要領：往復はがきに、教室名、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2)応募者多数のときは抽選 (3)持参品：返信はがきで連絡します。

・・・お知らせ・・・

★ 第1回ふじやま公園写真コンテスト 8月11日以降も変化朝顔が咲いています

例年にない酷暑の日が続いています。そんな時こそ、夏のふじやま公園の魅力をカメラの目をして見つけてください。目玉のひとつは4年目を迎えたふじやま公園の江戸変化朝顔です。11日早朝開園(写真)後も、花や葉の色や形の変った朝顔が、毎朝何輪か咲いています。運が良ければ9時の開園後でも撮影可能です。



もう一つの目玉はふじやま公園の自然そのものです。野生の昆虫の撮影のチャンスです。花壇ではケイトウなどの花が咲いています。入道雲を背負った改修前の古民家主屋も当然撮影対象です。あなた自身の公園の魅力を見つけ、ぜひコンテストにご参加ください。

《応募方法》

送 り 先：メールにて hongofujiyama@hongofujiyama.jp 宛。締切：8月31日(金)必着。

サ イ ズ：メール送信に適切なサイズにして、1人計4点以内。住所、氏名をお忘れなく。

注意事項：未発表のもの、肖像権侵害にならないもの。応募者が著作権を有しているもの。

但し、応募作品の使用権は本郷ふじやま公園に帰属するものとします

優秀作品は秋の収穫祭(11月10日予定)で表彰します。

★ 過去のふじやまだよりをホームページでご覧ください

ふじやま公園のホームページトップページ左上にある  をクリック

すると、ふじやまだよりの準備号から最新号まで見る事が出来ます。ご利用ください。

★ 公園ボランティアに参加しませんか

ふじやま公園では年間行事の企画実施、農園や竹炭焼きの自然の中での作業、古民家主屋内の飾りつけ、ふじやまだよりの編集・印刷など色々な活動があります。自分の趣味や時間に合わせて参加しませんか。お問合せや参加申込みは、電話または直接事務所窓口へどうぞ。

★ ふじやま公園来園者数 7月 1,172名 30年度累計 6,514名

- ・開 館 時 間： 9時～17時
- ・入 館 料： 無 料
- ・休 館 日： 毎月第1水曜日(9月5日)
- ・クリーンアップ： 毎月第1・3火曜日10時～11時(9月4日・18日)

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20 TEL：045-896-0590 FAX：045-896-0593